この現象は USB 認証装置が正しく認識できない 場合となります。

L&P		×
4	実行時エラー '76': バスが見つかりません。	
	ОК	<u>ן</u>

原因は下記が考えられます。

1. USB 認証装置のドライブ名が変わってしまった。 この場合は、初期設定ファイルを変更します。 本ソフトウエアーがインストールされている場所(デフォルト:ドキュメント¥LAP2) 内の LP.ini をメモ帳等で開きます。

121 行目に認証装置のドライブ 名が記述されております。 実行する PC のドライブ名に 書き換えて上書き保存します。



2. USB 認証装置自体が破損している。 他の PC で起動できるかご確認下さい。 破損している場合は、実費で交換できます。(5,500円) その場合、補損した USB 認証装置を先に弊社までお送り下さい。 パソコンを新しくし EXCEL が新しくなった場合等、入力データ呼び出し時ファイルタ イプの種類が違うのでは?と表示される

EXCEL でマクロ等を有効に設定します。

- 1, EXCEL を開く
- 2, ファイルーオプションを開く
- 3, トラストセンターを選択
- 4, Active の設定

x0cl 0/17 /27				
全般	ドキュメントを安全に	こ守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。		
数式				
データ	セキュリティと詳細情報			
文章校正	Office.com にアクセスして	、プライバシー保護とヤキュリティに関する詳細をご確認ください。		
保存				
a la	MICrosoft PDAP C22			
アクセシビリティ	Microsoft Excel トラスト センター			
詳細設定	トラスト センターではセキュリ: きます。この設定は変更しな	トラストセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。		
リボンのユーザー設定				
カイック アクヤス ツール パー	トラストセンター			
	信頼できる発行元	オペエの Office アプリケーションに適用する ActiveY の設定		
PMD	信頼できる場所	97(0) Office 7797-937(2019) Activex 0102		
トラストセンター	信頼済みドセッシット	○ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)		
	信頼できるアドイン カタログ アドイン	今先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を進化し、初期化してもして有効にする(R)		
		○ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)		
	ActiveX の設定	● 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコン		
	マクロの設定			
	保護ビュー	□ ゼーノ モート (コンピューターに対するコントロールの) パクセ人を制限します)(≦)		
	xwt7-~~ //-			
	外部コンテンツ			
	ファイル制限操作の設定			
	ノアコル市明空機能の設定			
	フライバシー オブション			
	フォームベースのサインイン			

5, マクロの設定

言頼できる発行元	マクロの設定
言規できる場所	○ 警告せずに VBA マクロを無効にする (M)
言規消みトキュメント	
言頼できるアドイン カタログ	○ 電子署名されたマクロを除き、VBA マクロを無効にする (G)
Pドイン ActiveX の設定	♥ VBA マクロを有効にする (推奨しません。 危険なコードが実行される可能性があります)(N)
マクロの設定	✓ VBA マクロが有効な場合に Excel 4.0 のマクロを有効にする (X)
呆護ビュー	開発者向けのマクロ設定
〜セージ バー 朴部コンテンツ ファイル制限機能の設定	□ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(<u>V</u>)

上記設定し EXCEL を再起動後メッセージが出なくなりボタンが利用できます。

※EXCELのバージョンにより設定方法が異なります。